



# Weekly Report

**Engage Rotary Change Lives**

ロータリーを实践しみんな豊かな人生を

**2013-2014 年度 R.I.会長**

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ  
 例会日 毎週水曜日 13:00-14:00  
 例会場 ANA クラウンプラザホテル  
 グランコート名古屋  
 創立 2013年6月5日  
 会長 八神 基 幹事 荒山 久美

**第13回例会 2013年9月18日 水曜日 晴れ**

斉唱 「それこそロータリー」

## 出席者報告

例会	第13回	第12回	第11回修正
会員数	33名	33名	33名
出席	27名	26名	28名
欠席	6名	7名	2名
Make Up	-	-	3名
出席率	81.82%	78.79%	93.94%

## ゲスト紹介

高浜 RC 黒田勝基さん  
 名古屋中 RC 岩月雅章さん  
 名古屋北 RC 水野吉紹名誉会員

## ニコボックス報告

ご寄付ありがとうございます<(\_)>

黒田さん 本日卓話を致します。  
 岩月さん 噂の名古屋アイリスに来ました。  
 八神会長 黒田さん、本日はありがとうございます。  
 安井副会長 台風一過、いいお天気になりました。  
 荒山幹事 昨夜とても良い事がありました。

## 会長挨拶

私は地区での役割りは、前年度は拡大委員会でした。その関係で当アイリスへ参加する事となりました。今年度は地区総務委員会です。ここでの仕事はロータリーのブランドを強化し発信していくことです。当地区の会員数は約 4900 名です。地区への出向者数は 317

名で、総会員数の 6.5% です。アイリス会員数は 33 名、その 6.5% は 2 名ですから、少なくとも 2 名は地区へ出向したいですね。

地区での仕事はロータリー活動に対して目を開かせてくれます。また知合いも増えてまいります。是非地区への出向に手を挙げてください。募集は毎年 12 月上旬辺りに地区から届きます。

「ガバナー月信」には「ロータリーのイメージとブランド認知のために」を寄稿しておりますので、発行後に是非ご一読ください。

## 幹事報告

会長からの案内の説明もありましたが、11/2,3,4 日開催予定の「ワールドフードフェスタ」のチケット代金の集金時期等の連絡。

## 親睦委員長より

9/25 の第 1 回親睦例会の案内他。

## 「クラブフォーラム」 青少年月間

### 本日の卓話

「青少年交換活動について」

国際ロータリー第 2760 地区

青少年交換委員会 委員

高浜 RC 黒田 勝基さん

青少年奉仕は国際ロータリーのプログラムです。青少年育成のプログラムは歴史が長く、1905 年にロータリークラブが設立されてすぐに始まりました。1913

年に障害児委員会設置、1916年に新世代活動プロジェクトを行う常設委員会が設置され、1921年にはポール・ハリス氏が初代会長を務め、1929年に最初の学生が交換学生として米国から初めて欧州に渡りました。日本では1974年に初めて青少年交換が誕生し、現在までに13カ国と交換実績があります。

2005-2006年RI会長ステンハマーは「全世界のすべての高校生がこのプログラムに参加すれば、世界の争いはなくなる」と言いました。

2760地区は1968年より青少年交換を開始し、現在までに398名を受け入れました。高浜RCはこの地区での受け入れ人数は38名、次いで名古屋大須RCで36名、3位が小牧RCで27名です。未経験クラブは19クラブ、10年間実績のないクラブも47クラブあります。全国ベースでも、リーマンショック、東日本大震災以後交換学生の人数は激減しています。ロータリアン数では日本最大地区である2760地区ですが、その実績についてはロータリアン数比率が458会員で1人の来日学生という数値で、残念ながら全国34地区中19位ということです。

青少年交換の仕組みはロータリー章典で統制されています。「青少年交換」もRIの青少年奉仕プログラムの一つで、数あるロータリープログラムの中で唯一ロータリアンの子弟が参加出来るプログラムでもあります。青少年交換については4Dルール、期間、年齢制限など世界共通ルールで交換が実施されています。危機管理の体制がある地区としか交換が実施されませんので、安全です。学生の語学勉強だけではなく、国際理解、国際親善を目的にしています。負担する費用は、往復旅費及び保険、個人的衣服のみでもっとも低価格の留学が実現出来るとともに、お小遣い(\$70-100)までいただけるプログラムは他にはありません。交換学生はこのプログラムによって多くの同期生ができ、また世界中に多くの友達を作ることが出来ます。

現在このプログラムが抱えている問題点は、まずスポンサーRCの不足です。留学したい高校生は大勢いますが、スポンサーがないという理由で諦めています。スポンサークラブの不足についての理由は、受け入れることによって費用がかかる、家庭内に同年齢の子供

がない、お世話が大変で面倒だからなど、様々です。ひとつのクラブで3-4のホストファミリーが必要となりますが、単一クラブでの確保が困難になりつつあるという事実です。そこで、地区としての交換を推進するために「ホストファミリーバンク」の新設を試みています。クラブとしてのホストは厳しいが、クラブ間の垣根を越えてホストファミリーになってもよいというロータリアンの開拓、登録が必要です。プログラムが始まり、最初にセントレアに来た時は、学生はおどおどして不安そうな顔をしています。1年間ホストをして、帰国が近くなると、殆どの学生は帰りたくないと言います。空港でハグして別れる時の感動は、まさに自分の子供が巣立つ時と同じです。私が過去にお世話した学生とは今でも深い交流を続けています。世界中に子供が出来る喜びのあるホストファミリーを一度皆さんも経験してみてください。肩肘を張らないで自分の子供と同じと考え、日常は日本語でいいのです。問題がありそうな時はクラブカウンセラー、青少年交換委員長を中心とした対応も可能です。クラブとして受け入れたら、とても素晴らしいプログラムですから、全会員を巻き込んでの活動が大切です。

### これからの例会予定

#### 【第14回例会】第1回親睦例会

9月25日 水曜日 18:00-20:00

料亭 香楽

伊藤善子会員には当日、職業奉仕の一環として日本料理についてのお話を少しいただきます。会費¥16,000は当日現金でお支払い下さい。

#### 【第15回例会】

10月2日 水曜日 13:00-14:00

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

クラブフォーラム（職業奉仕）

第4回理事・役員会を実施しますので、**理事・役員、及び各委員会委員長は出席して下さい。**

**委員長が欠席の場合は必ず代理の会員が出席して下さい。**